第１回　境港市まちづくり若者委員会　会議録（要旨）

　日　時　　平成３１年１月９日（水）午後３時～午後５時３０分

　場　所　　水木しげるロード（現地視察）、移動後、しおさい会館

　出席者　【委員会委員】

　　　　　　赤石委員長、周藤委員、竺長委員、阿部委員

　　　　　【事務局】

　　　　　　中村市長、伊達 総務部長、

　　　　　　足立 産業部参事兼通商観光課長、立花 通商観光課観光振興係長、

自治防災課 奥石主査、手島 危機管理室長

　傍聴者　　なし

　＜次　第＞

１　開　会

２　現地視察

　　水木しげるロード

３　本日のテーマ「観光振興」に係る市の施策説明

４　委員による意見交換・討議

５　市長と委員との意見交換

６　閉　会

＜会議録（要旨）＞

◆次第１～４は省略

◆次第５　市長と委員との意見交換

　　～　　市長入室　　～　　１６：３０から

　　司　会（部長）

　　　「それでは定刻になりましたので、平成３０年度第１回まちづくり若者委員会を始めたいと思います。昨年に引き続き、観光振興について、夜の賑わいの創出ということで、平成２９年度は意見交換をしました。引き続き、夜も含めて平日もという事で、観光について意見交換をしていただきたいと思います。それでは最初に市長からひと言ご挨拶をお願いします。」

　　市　長

　　　「皆さんには本当に年始めの大変忙しい時にお集まりいただきまして、ありがとうございます。今日は皆さんに水木しげるロードを歩いていただいて、見ていただいたところでありますが、今日のテーマは観光振興という事ですが、ご案内のように昨年７月に構想から４年半くらいを経まして、水木しげるロードのリニューアルを行ったところです。

　　　その結果、大変多くの観光客の皆さんに、お越しいただくことにまたなりました。大変喜んでいるところです。これからが本当の意味で正念場だという具合に思っております。この賑わいを継続させていくためには、行政も民間もいろんな知恵を出して、さらに汗を流してやっていかなければならない。そしてまたもう一つは、水木しげるロードだけではなくて、市内に賑わいというものを、いかに入ってきてもらうか、市内の方に流れを作っていくか、こういった事も大きな課題であると思っております。

　　　そういった事も含めまして、若い皆さんから本市の観光振興について、いろいろな角度から忌憚のないご意見をお聞かせいただければ大変ありがたいと思います。どうぞよろしくお願いします。」

　　司　会

　　　「それでは次第に沿って、意見交換を委員長の進行でお願いします。」

　　委員長から委員意見を代表して発表

　　　◆ロードに郷土料理が学べるような場所があれば、観光客だけでなく、地元の人も来てもらえる。開催日も平日の昼間にする。

◆はまるーぷバスの終了時間が早いので、地元の人でも夜のロードに出

かけるためには車で行かねばならないので、飲酒が楽しめない。土曜日

だけでも夜間営業をしてはどうか。

　　　◆世界妖怪会議の場所が、ブロンズ像が移動して以降の活用ができていない。駅前の場所を活用してはどうか。土曜夜市をもっと大きなものにして、毎週土曜日を本当の土曜夜市を開催してはどうか。そこにはまるーぷバスの夜間営業もプラスする。

　　　◆ポケモンＧＯで、何人も集まらないと倒せない限定キャラクターを平日限定で出すことによって、観光客が集まるような仕掛けをする。働き方改革の有給５日の使い方として、国や県や市などＰＲしてはどうか。

◆ロードに意見箱を設置し、いただいた意見の中で、昼間の賑わいに繋がるような意見を見つける方法はどうか。

◆水族館のような大型施設が一つでもあれば、滞在時間の延長につなが　る。

　　市　長

　　　「本当に貴重なご意見だと思います。はまるーぷバスの夜間の運行というのも現時点で考えてみる必要があります。民間の方も土曜夜市を復活させておられますし、考えてみればはまるーぷバスもそれに合わせてやらないといけません。」

　　委　員

　　　「昨年の大雪の時に、はまるーぷバスを利用させていただいて、細かく停まってくれるし、雪でも走ってくれるし、１００円というのが凄く良いと思いました。やっぱり千代むすびさんとか行きたいけど、車なので、お酒が飲めなくって、（そんな時に）はまるーぷバスが動いたら良いなと思います。週末だけでも。」

　　市　長

　　　「（予算要求に）まだ間に合うじゃないかな。運転手の確保ができれば。あとは油代が少しかかるかな。ぜひ今年の夏にやってみましょう。」

　　司　会

　　　「具体的にどんな形が良いのでしょうか。」

　　委　員

　　　「週末とかで良いのではないでしょうか。金曜日はなかなか…。月に１回とか２回、２週間に１回でもいいです。」

　　市　長

　　　「こういった具合に皆さんから、やっぱり意見を聴けば、すぐにやらないといけない。それが大切なのです。」

　　市　長

　　　「滞在型の観光というのも課題でして、食の体験という話もありましたが、こちらには弓浜絣があって、絣を織ってみるとか、観光客が綿の栽培の手伝いとか情報発信の仕方かな。」

　　係　長

　　　「てぬぐいひらひらというイベントがありますが、収穫体験として海とくらしの史料館から中野町の畑まで行ってもらっています。結構都会の人も来られていて、喜ばれていました。」

　　市　長

　　　「意見箱の設置も、ロード振興会と協議して、すぐにでもできることです。大変良いことです。」

　　係　長

　　　「記念館と観光案内所では、アンケートを取っています。そこで自由記述ができるようにはなっています。」

　　市　長

　　　「気楽にどんどん意見を言ってもらえるような構えをしたらどうか。」

　　市　長

　　　「なかなか我々も、ロードの関係者も、いろいろな知恵を出して考えていますが、及ばないところが沢山あって、本当にこういった形で皆さんにいろいろな角度から、そういった話を聴かせてもらって、大変ありがたいです。今聞かせてもらった話の中でも、すぐにやらないといけない事が沢山あります。ありがとうございます。」

　　市　長

　　　「妖怪会議をやった場所はあまり活用されていないのでしょうか。」

　　委　員

　　　「自分でもロードを子どもたちと歩いて、ロードはリニューアルされて、夜でも楽しいですが、こっちまで来てしまうと何もないというところで、あそこで何かあると、また一つ何か目標があるという部分はあります。」

　　市　長

　　　「あそこまで人が足を運ばないのでしょうか。」

　　委　員

　　　「駅を利用される方は通られますが、お店が無くなってしまうので、そこに何か目玉があるといいかなと思います。工事期間中は沢山の人が写真を撮っていたりしました。わかりづらいという部分もあります。お手洗いがあって、その奥になりますので、列車に乗ってこられた方が降りてみて、何があるのか見てみるぐらいです。せっかくなので、あそこで土曜夜市が大きくなったものが出来て、市場みたいな感じで、そこにはまるーぷバスがというのが、画としては良い感じになるかなと思います。」

　　市　長

　　　「隣の土地は公社の土地で貸しているが、いまいちパッとしない。併せて考えないといけない。あそこは民間の人に賑わいを作ってもらうために貸しましたが、どうもパッとしません。一番のメインの場所になっています。あそこの場所ももっと活用するように考えてみます。」

　　委　員

　　　「歩いているときの意見の中には、バスターミナルがやっぱりちょっと小さくて、わかりづらいからもう少し妖怪会議の方に、もう少し大きめの駅を作って、その横にバスターミナルがあると、もう少し今よりは良いかなという意見もありました。お金がだいぶかかる話ですが。これから市の方からも声をかけてもらいましたが、昭和レトロの雰囲気づくりが町としてできた時に、そこから新しい文化が生まれてくる。」

　　市　長

　　　「やはり、今の賑わいを継続させていくというのは、そういった取り組みをきちっとやっていかないといけないということです。」

　　委　員

　　　「（昭和レトロの雰囲気づくりは）リニューアルの時にお話があって、リニューアルが先に始まったので、ついていけなかったところもあります。またロード振興会でも話を広げていきたいと思います。」

　　市　長

　　　「行政と民間と力を合わせてやっていかないと、なかなか。（進まない）」

　　司　会

　　　「土曜夜市実行委員会で、駅前の公園でもしようという声は出なかったのでしょうか。」

　　委　員

　　　「今年は、することが第一で、広告に載せられるようなイベントで、キッズダンスなどやってもらって、まずは少しずつ。土曜夜市が復活したというのをＰＲできるようなことを、というのを実行委員長からは聞いています。自分としては、ロードの受益者だけではなくて、市民参加型の文化にしていけたらという意見も出ていている中で、調べてみると、高知の朝市が、民間で年配の方がいつもやっている商売の物を持ってきて、売っていたり、それを旅館に泊まっている人が、朝早く起きて行かれる。そこで半日ぐらい楽しんで、というのがあったので、境港の魚と妖怪のまちというところから、『境港に行けば土曜夜市があるよね』というところまでいければ良い。昔からあった子どもたちが楽しめる祭りでもあったし、また観光客にも楽しんでもらえるのではないかと思います。今年の土曜夜市では、夜にあんなに沢山の人がロードに来て、皆さんが喜んでいて、それを見ていると、これを絶やすのは本当にもったいない。来年はレベルアップしていければと思います。」

　　委　員

　　　「弓浜絣の話が出ましたが、ブランドの価値が高くて、知ってはいるのですが、地元の人以外の話を聞いてみると、やはり値段が張ると言われる。境港の良い物ではあるけれど、地元の人でも使ったり、持ったりしてれば良い物だと判るが、最初に見るのはデザインと値段だという。良いの物は高いというのは判っているので、良い物という価値のＰＲが必要。」

　　市　長

「昔は安かったんです。普段着でもありました。身近な物でした。作業着やもんぺとか。」

　　委　員

　　　「先ほどお話のあった、てぬぐいひらひらだと、見た目も鮮やかで、盛り上がる感じもあったし、会場も２か所に分かれていたようです。」

　　係　長

　　　「メインは海とくらしの史料館でやって、収穫体験を畑でやるというのをしていました。」

　　委　員

　　　「その間でも景色を見てもらったり、綿がこうなってこうなるというのがわかると、親の世代にとってもいい勉強になる。もっとＰＲできる何かがあるといい。」

　　市　長

　　　「前には弓浜絣を、織機も一緒にロードに持っていって、そこで実際に織るという体験をしてもらう話もありました。」

委　員

「弓浜絣の伝承館も少し離れていて、施設としては良い所なのに、なかなかあそこまで行けない。」

　　市　長

　　　「今、クルーズ客船で外国の方がそういった物に関心があって、触ってみるだけでも。値打ちがあるというのかな。ぜひそういったものもやりたいんですが、それも途中で無くなってしまいました。ロードで実際にスタートしました。県からの補助金も入れて。人が来ないから辞めた訳ではなく、他の事情で辞めてしまいました。勿体ない話です。そういうのがまたできればいいなと思います。他にもやりたいというか、やらないといけない事が沢山あります。」

　　委　員

　　　「今日の意見交換会で実現しそうな事も、多々出てきたのではないでしょうか。私たちとしては委員会を開く、何かしら一つでも活かしていただけるとやりがいがあるので、そういうのを楽しみに参加させていただいている部分もあるので、今日の市長の即行動の発現は、皆のモチベーションが上がりました。」

　　市　長

　　　「はまるーぷバスの件は、本当にそのとおりです。土曜夜市の復活などの活動に応えないといけない。市民の皆さんの利便性が本当に向上する話です。みなと祭りも考えてみないといけない。」

　　委　員

　　　「そういう時にこそ、地元の人が使えるはまるーぷバスがあれば、余計に喜びます。」

　　市　長

　　　「またそういう時に乗れば、便利な物だと判るから、利用につながっていく。今シーズンちゃんと考えておかないといけない。」

　　委　員

　　　「火急な事案ができて申し訳ないです。ぜひよろしくお願いします。」

　　市　長

　　　「予算的なものについては、まだ間に合います。」

　　市　長

　　　「それとポケモンＧＯは、運営会社の方に頼めば、やってくれるのか。」

　　委　員

　　　「鳥取砂丘とか特別扱いをしていただいてるようなイメージです。」

　　委　員

　　　「鳥取砂丘でイベントをしたときは、凄い数の人が来ました。」

　　委　員

　　　「近くの宿泊施設がいっぱいだったと聞いています。その話題でまたお客さんがまた行ってみようという話になるのが、一番ありがたいことです。」

　　市　長

　　　「砂丘だけでなく鳥取市内も沢山歩いていました。若い人がペアで。」

　　委　員

　　　「境港にもぜひ。」

　　市　長

　　　「境港にも駅裏とか何組も歩いていた。」

　　司　会

　　　「ロードには沢山出現するそうです。」

　　市　長

　　　「しかも滅多に出会えないような物を出してもらうような手立てはできないのだろうか。」

　　委　員

　　　「そういう強いポケモンは一人では倒せないので、駅の前とか知らない人同士が沢山集まっています。」

　　委　員

　　　「そこで特別に境港では婚活もからめるとか。ハートが出たら連絡先を確認とか。」

　　市　長

　　　「費用が掛かれば、そういったものは個人が負担してでも、そういったものができればいい。」

　　委　員

　　　「平日にかければいいそういったものを。」

　　委員長

　　　「特化してレアキャラ、境港産のポケモンのキャラクターはカニ○〇君を出すみたいな。」

　　市　長

　　　「海とくらしの史料館に釣り堀なんて夢のある話もありますね。水族館を境港にぜひ造りたいと思っていますが、大変な建設費がかかるので、とても市単独ではできないので、県と協力してやれればいいなというところまで話がいっていたのですが、２０億を超えるような事業費が掛かりますが、ちょうど市民会館と図書館の建て替えをしていて、これが４５～４６億掛かるので、これが済んでからの話だなと。全国で水族館のない県は４つぐらいしかない。境港は全国で５番６番の水揚げがある有数の港です。山口県や島根県、兵庫県や京都府とか皆あります。鳥取県だけです。水木しげるロードと相乗効果があると思うので、ぜひ実現できたらいいなと考えています。」

　　委　員

　　　「釣り堀は昔、美保関の方にあって、行って楽しんだ記憶もあります。やっぱり、魚のまちですから。海を活かすという意味では、釣り堀もいいですね。おさかなロードもブロンズ像がだんだん増えてきて、さかなを盛り上げていこうという空気になってきている。」

　　市　長

　　　「そういった水族館とか釣り堀とか、ぜひ欲しいですね。」

　　市　長

　　　「ぜひ今年度、実現できることは一つ二つ必ずやりますから。」

　　市　長

　　　「こういった会議の場でなくても、普段でもお気づきの点がありましたら、すぐ担当の者に話をしていただければ、大変ありがたいと思います。」

　　委　員

　　　「次回は２月に開催で、テーマは防災です。」

　　司　会

　　　「では、第１回のまちづくり若者委員会をこれで終わりにしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。」